

大船渡市末崎町ラベンダー畑保存会



どいじり あきこ
発起人 土井尻 明子

皆様こんにちは。大船渡市出身のソプラノ歌手土井尻明子です。6月18日の東海新報の報道で既にご存じの方もいらっしゃると思いますが、長年市民の皆様や、観光で訪れる方から愛された末崎町のラベンダー畑の摘み取り会が今年の7月で終了するとのこと。この報道を受け、「これまで通り摘み取り会の出来る環境を残す」ことの必要性を感じ、上記保存会を立ち上げることにいたしました。保存会の活動内容等を以下に記しますので、ご賛同頂ける場合には是非ともご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

■保存会立ち上げの経緯－市民の皆様の憩いの場としての畑を次世代に残したい－



東日本大震災後、毎年開催されてきた末崎町のラベンダー摘み取り会の会場となる畑はこれまで大船渡市によって管理されてきましたが、2020年に契約が満了となり、市は土地所有者へ畑を返却する予定とのこと。

返却時には「更地にして返却」することになるとお聞きしたので、このまま返却手続きが進むと「ラベンダーの株を全て引き抜」かれてしまうこととなります。皆様ご存じの通り、この畑で採れるラベンダーは品質も優れ、多くの人から愛されています。株を根こそぎ引き抜いてしまったら、これだけのラベンダー畑を復活させるのは相当難しいものと思われま

す。以上の事から、私は震災で甚大なダメージを受けた大船渡市の復興のシンボルの一部でもあるこの畑で「2021年以降もこれまで通り摘み取り会ができる環境を残したい」と考え、大船渡市役所農林課様、土地の所有者様、熊谷七郎様(基石ハーブ研究会員)にご相談の上、この保存会を立ち上げ、摘み取り会の会場となっていた土地の一部を1年間お借りするための手続きを進めています。

■保存会の活動内容－できるだけ多くの皆様にご納得いただける活用法を－



現在考えている活動内容は下記の通りです。

1. 2021年秋以降の畑の管理者への引継ぎ準備(私が畑をお借りするのは1年のみです)
2. 今後のラベンダー畑の活用法についての話し合い
3. 畑の管理(雑草取り、肥料やり、株の植え替え)
4. 農具の管理
5. 2021年摘み取り会の準備・運営
6. 大船渡市末崎町ラベンダー畑の歴史についての啓蒙活動

当保存会の詳細については公式ホームページをご覧ください。

<https://lavenderhozonkai.webnode.jp/>

大船渡市末崎町ラベンダー畑保存会事務局メールアドレス
goishilavender2020@gmail.com